

令和 8年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：地域医療対策担当
 内線：3538 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S104	救命医療体制施設・設備整備事業費			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	救急医療対策費		
事業期間	平成24年度～	根拠法令	医療提供体制推進事業費補助金交付要綱			針路 分野施策	03 0303	介護・医療体制の充実 地域医療体制の充実	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-1, 3-2	
1 事業の概要 救命救急センター及び周産期母子医療センターの機能を強化するため、医療機器等の整備に係る経費を助成する。 ア 救命救急医療機能強化事業 32,788千円 イ 周産期医療機能強化事業 25,630千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 救命救急医療機能強化事業 32,788千円 救命救急センターとして必要な、医療機器及び重症熱傷患者用備品等の整備に係る経費を助成する。 イ 周産期医療機能強化事業 25,630千円 周産期母子医療センターとして必要な、医療機器等の備品整備に係る経費を助成する。 (2) 事業計画 ア 救命救急医療機能強化事業 対象数 8医療機関 イ 周産期医療機能強化事業 対象数 9医療機関 (3) 事業効果 ア 令和4年度 (ア) 救命救急医療機能強化事業 (7医療機関：生体情報モニタ等) (イ) 周産期医療機能強化事業 (3医療機関：分娩監視装置等) イ 令和5年度 (ア) 救命救急医療機能強化事業 (6医療機関：血行動態モニタリング装置等) (イ) 周産期医療機能強化事業 (3医療機関：分娩監視装置等) ウ 令和6年度 (ア) 救命救急医療機能強化事業 (6医療機関：血行動態モニタリング装置等) (イ) 周産期医療機能強化事業 (7医療機関：分娩監視装置等) 【活動指標(アウトプット)】 ア 救命救急センターへの設備整備補助件数 イ 周産期母子医療センターへの設備整備補助件数 【成果指標(アウトカム)】 ア 重症救急搬送患者の医療機関への受入照会が4回以上となってしまう割合の減少 イ 母体・新生児搬送コーディネーターの母体搬送調整で4回以上の受入照会を行った割合の減少						
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】 救急医療対策費補助金 周産期医療システム整備費補助金 (国1/3・県1/3)事業者1/3										
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分)衛生費（細目）医療行政費 (細節)特別医療対策費 (積算内容)救急医療施設運営費等補助										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人＝950千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	58,418	29,209							29,209	0
前年額	58,418	29,209							29,209	

事業内訳書

事業名	救命医療体制施設・設備整備事業費		
単位事業名	救命救急医療機能強化事業	予算額	32,788千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	16,394	△12,815	【厚生労働省】 救急医療対策費補助金 補助率 1/2
一般財源	16,394	△12,815	
合計	32,788	△25,630	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	32,788	△25,630	救命救急センターへの設備整備補助金 8施設分
合計	32,788	△25,630	

単位事業名	周産期医療機能強化事業	予算額	25,630千円
-------	-------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	12,815	12,815	【厚生労働省】 周産期医療システム整備費補助金 補助率 1/2

単位事業名	周産期医療機能強化事業	予算額	25,630千円
-------	-------------	-----	----------

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	12,815	12,815	
合計	25,630	25,630	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	25,630	25,630	周産期母子医療センターへの設備整備補助金 9施設分
合計	25,630	25,630	